

倉敷市実践型

KURASHIKI
INTERNSHIP
GUIDE

インターンシップ

大学生と経営者の夢への挑戦！

活用ガイド

2020

実践型インターンシップとは

CASE1 株式会社行雲（オンライン混合インターンシップ）

CASE2 株式会社児島技研（対面インターンシップ）

CASE3 丸三化学工業株式会社（オンラインインターンシップ）



倉敷市実践型インターンシップとは

大学生と経営者は「期間限定」プロジェクトメンバー！

実践型インターンシップは、「経営者が本当にやってみたい」「試してみたいけれど、まだ手を付けられていない」プロジェクトを若者と共に一定期間試してみるプログラムです。学生が1ヶ月から6ヶ月程度の長期にわたり、倉敷市内の企業で新規事業の企画立案・実施、課題の解決などに携わります。若者と共に、企業にとっての新たなチャレンジに取り組むきっかけとして、ご活用ください。

取り組みたいが、手が付けられていないことがある！



現場で学び、自分を試したい！

インターンシップの種類

	期間	内容	社内の位置付け	学生への期待	受入側の目的	主な受入先
採用直結型	1～2週間	業務見学・座学 シャドウイング	就活生	職場への理解	採用活動	大手企業、専門事務所 行政が中心 (人事部が窓口)
業務補助型	1ヶ月	業務体験	研修生 (見習い)	学生ならではの意見	社会貢献、採用活動	大手企業 行政が中心 (人事部が窓口)
今回のプロジェクト 長期実践型 インターンシップ	1ヶ月～	課題発見・解決 業務遂行 プロジェクト マネジメント	プロジェクト スタッフ	プロジェクトの成功 特定の役割の遂行	新たなチャレンジ(変革) 経営課題の解決 組織活性	ベンチャー・中小企業 NPO等 (経営者や事業責任者が 直接窓口になる傾向)

受入プログラムのテーマ例

1. 現状分析リサーチ

- ・立ち上げを考えている事業のマーケティングリサーチ
- ・自社の商品、サービス、システムなどの現状と改善点をレポート
→自社の現状を確認
→改善の手がかりをつかむ
- ・自社の組織課題に関するリサーチと課題解決に繋がる企画立案

社内ヒヤリング

自社商品やテーマに関して、社内の意識や理解を把握する

社外ヒヤリング

自社商品が社外（市場）で、どれだけ理解されているかを把握する

2. プロモーションツール作成

- ・新たに立ち上げる事業のプロモーションツールの作成
事例や顧客の声をまとめる（取材→ヒヤリング→文章化）
- ・今ある商品やサービスについて、外部の目線でのツール作成・改善
- ・新卒採用のツール制作
リーフレットなどを学生の視点を踏まえて、企画・制作



企画制作した採用専門ページ

3. 新規事業プロジェクトの設計

- ・地域課題や自社のリソースを意識した新規事業の素案づくりをするための調査・企画立案



採用専門ページの企画・制作



高校生に地元企業を知ってもらいイベント企画



消費者向け商品の開発可能性を探る

インターン参加企業と学生の声

自律型の人材を採用したい

CASE1 株式会社 行雲（オンライン混合インターンシップ）

事業内容 「心の豊かな暮らしを創る」という企業理念に沿った、倉敷美観地区を拠点とする事業（古民家カフェ『有鄰庵』等）

プロジェクト 採用専門ページの企画・制作

プロモーションツールの作成

参加した理由とプロジェクトの概要

インターンの受け入れ＝「楽しそう」と参加しました。実現したい事業アイデアは多くありますが、それを担う「自ら動く」人材が採用できていませんでした。そこで、インターン生と「行雲らしさ」を表現した採用専門ページの企画・制作に取り組みました。

担当者の声



代表取締役 犬養 拓さん

一つの家族に末っ子が増えた感じがすごく良かったです。執筆や撮影のスキルがどんどん上がっていくとともに、社内に頑張っている姿を見せられました。

インターン生の声

明治大学 2年（当時） 片平 愛里さん

「食」に関する事業の立ち上げや地方に関心があり、参加しました。プロジェクトで色々な人と関わりをもち、自分のことを話すようになるとともに、地方就職に関心をもつようになりました。

吉備国際大学 3年（当時） 大熊 佳奈さん

興味のある古民家、食、工芸に関係のある会社で仕事をしたいと参加しました。自分の性格や考え方に対して客観的な意見を頂く機会が多く、自分について改めて知ることができました。

国際教養大学 2年（当時） 稲川 拓実さん

地元を離れ、自分の価値観を変える経験をしたいと参加しました。プロジェクトで様々なタイプの方と関わり、それぞれの人に対して柔軟な接し方ができるようになりました。

地元出身の人材を採用したい

CASE2 株式会社 児島技研（対面インターンシップ）

事業内容 「インフラの診断医」（地下インフラの調査・点検等）

プロジェクト 高校生に地元企業を知ってもらいイベント企画

「学生らしさ」を活かした企画立案

参加した理由とプロジェクトの概要

地元の安全を守ることが使命の中、地元出身の社員が少ないことが課題でした。地元人材の確保を強化したい。地域の企業や関係機関と協働して、高校生が地元企業を知り、将来を考えるイベント企画をインターン生と行いました。

担当者の声



取締役副社長 尾崎 祐一さん

高校生に近い世代であり、若い柔軟な考えを出してもらいました。また、インターン生から「見せ方」を学ぶとともに、目の前の課題に対して頑張る姿を社員に見せてくれました。

インターン生の声

吉備国際大学 3年（当時） 石原 春乃さん

地域や教育に関心があり、参加しました。プロジェクトを通じて、「地方で働くこと」の魅力に気づくとともに、「まず行動すること」の大切さを学びました。

北海道大学 大学院 1年（当時） 河野 健太さん

地方における企業経営に関心があり、参加しました。プロジェクトを通じて、地方ならではの人のつながりを感じました。また、チームで動き、「環境を受け入れて、自分が変わる心掛け」を学びました。

消費者向け商品を開発したい

CASE3 丸三化学工業 株式会社（オンラインインターンシップ）

事業内容 荷物梱包用の PP バンドと量線用のモノフィラメント糸の製造

プロジェクト 既存商品の消費者向け開発可能性を探る

新たな事業の為のリサーチ・企画

参加した理由とプロジェクトの概要

共同開発した「ラタンコード」の販路拡大に課題を感じる中、周りの企業は消費者向け商品の開発・販売に取り組んでいました。自社としてもその可能性を探りたい。インターン生と手芸市場における市場リサーチと商品展開を考え、共同開発者にプレゼン・提案を行いました。

担当者の声



代表取締役 岡 隆平さん

プレゼン後、共同開発者からの連絡が増えました。具体的な展開につなげていきたいと思うとともに、大学生との取り組みは新鮮な機会で社員にとっても刺激となりました。

インターン生の声

明治大学 1年（当時） 長瀬 祐大さん

市場調査やマーケティング戦略に関心があり、参加しました。物を売る時に何を考え、実際にどう販売するのかを学んだとともに、「チームミーティング」の大事さを改めて感じました。

芝浦工業大学 2年（当時） 的場 正和さん

ものづくりや経営学に関心があり、実際にどう売るかを学びたく参加しました。経営者の元で、商品化までの流れに取り組み、「意思疎通の大切さ」を学びました。



参加までの流れ

企業

事前準備

プロジェクト設計

受入企業とコーディネート機関で、企業にとって本気で試してみたいこと、学生にとっても共感してチャレンジしたいと思えることを明らかにして、プロジェクトの目標・内容を設計。

学生募集・マッチング

設計したプロジェクトをもとに、コーディネート機関が、学生向けの募集要項を作成し、WEB上で公開。その他、学生向けイベント等にて参加学生を募集。

学生とコーディネート機関の間で個別面談をし、プロジェクトの説明や、学生の意向確認・すり合わせを実施。

その後、企業との面接にて、最終的な合否を決定。

受入準備

インターン開始にあたって、社内体制の契約書類作成、保険加入者の手続きを実施。

インターン実施

個別面談・合同研修

プロジェクトの進め方、学生との接し方など生まれてくる疑問に対して、コーディネート機関も個別に面談や研修実施でフォロー。

また、倉敷市では合同で研修等をするので、横のつながりが出来るのも特徴的。

終了・振り返り

振り返り

最終報告会を通じて、合同で学生、企業、コーディネート機関で振り返る機会があります。他社の取り組みや気づきを学ぶとともに、他の企業やインターン生から自社の取り組みに意見をもらうことが出来ます。

Q&A

うちは法人向けビジネスで、どんなプログラムをしたらよいか分からない。

プログラムの内容については、コーディネーターと相談しながら決定しますので、まずは相談してみてください。社内の課題解決をプログラムにすることも出来ますよ。

学生

インターン応募

WEB やイベントで参加申込

興味のあるプログラムへコーディネート機関を通じてエントリー

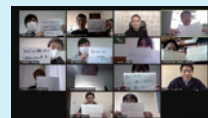
個別面談（コーディネート機関）

コーディネーターと面談。現在の関心や将来取り組みたい事、自身の強みを話したりする中で、エントリーしたプログラムをどう活かすか、どう貢献するかという点を深めます。

個別面談（希望する企業）

お互いが目指すゴールを確認します。プログラムについて聞きたい事は質問しましょう。

合否



インターン期間

オリエンテーション（合同）

中間研修会（合同）

倉敷市の各企業やインターン生が参加する合同の研修の機会があります。目標設定やその後の振り返りの機会があります。他のインターン生と知り合い、刺激となる機会があるのも倉敷市ならではです。また、コーディネーターが随時、フォローしてくれます。

終了・振り返り

最終報告会

今までの学びを振り返り、アウトプットします。他の企業担当者やインターン生からも意見をもらうことができる機会です。

Q&A

参加する場合、どのような費用がかかるのでしょうか？

参加費は無料です。自宅から参加する企業までの交通費と宿泊費が必要です。企業によっては補助がある場合があります。また、宿泊については、倉敷市の「お試し住宅」の利用も可能です。

<https://iju-kurashiki-gurashi.jp/support-info/trial-housing>

なお、新型コロナウイルスの感染状況等によって、オンラインでの実施の場合もあります。